

LIBRARY



2 学期は芸術発表会に向けて、みんな忙しそうですね！

『この夏の星を見る』 辻村深月 集英社 2022



2020年2月、学校が一斉休校となり、思ってもみなかった日々を過ごすことになった3人が主人公。茨城に住む高校生の亜紗、東京に住む中学生の真宙、五島列島に住む高校生の円華。それぞれ全く違う場所で、様々な悩みを抱えながら、今を生きている。その3人が見上げた星空が、コロナで会えないからこそ、つながっていく。辻村作品が好きなあなたはもちろん、初めてという人にもお薦めの1冊。

『私たちの世代は』 瀬尾まいこ著 文藝春秋 2023



小3の時に、未曾有の感染症が流行。冴は、世話好きでお節介な母と一緒に、近所の同級生の家に食べ物を届けに行き、親にほったらかされている蒼葉に始めて会う。心晴は、分散登校中に、同じ机を使う子と名前も知らぬまま手紙の交換を続け、全校登校日には花壇の前で逢うことを心待ちにしていた。ところが糖尿病の父が感染することを怖れた母から登校を止められ、以来、家に引きこもり続ける。冴は中学生になると、母が夜の仕事をしていることを理由に、クラス中から嫌がらせを受ける。それを知った蒼葉は、全力で冴を守ろうとするが…。違う場所で生きる冴と心晴の人生がいつしか交差する感動の物語！

『夜空にひらく』 いたうみく著 講談社 2023



バイト先で暴力事件を起こした鳴海円人。試験観察処分を引取ってくれたのは煙火（花火）工場を経営する深見だった。円人にも辛い過去があり、深見にも円人の知らない過去があった。しかし、住み込みの双子の兄弟と一緒に、深見の母まち子の作るご飯を食べる日々が、円人の心を少しずつほぐしていく。傷ついた魂を癒すのは、ここは自分の居場所だと思える場に出会えることなのかも。

『となりの火星人』 工藤純子著 講談社 2018



かえでは、思ったことをズバツと言ってしまう。言われた側は当惑し、時に傷つく。周囲からは変わり者と思われ、美咲から「火星人」とまで言われてしまう。幼なじみの湊だけは安心して話せる相手なのだが、湊も自分がいつも人のお荷物になっていることを気にしている。和樹はカッとなるとつい手がでてしまう自分が好きになれずにいる。かえでを火星人呼ばわりした美咲も、人知れず過呼吸で苦しんでいる。そんな彼らが、少しずつお互いの苦しみを分かち合い、次の一歩を踏み出す力を得る。子どもたちを見る著者の目の温かさを感じる1冊。

『スウィートホーム』 花里真希著 講談社 2021



千紗の両親は、父が中学校の教師、母が小学校の教師。千紗と妹の由紗を育てながら家事もこなすので、家の整理整頓まで手が回らない。父親は全く手伝おうとせず、料理に文句をつけ、千紗を頭ごなしに叱り、時に手もあげる。そんな父親が大嫌いの千紗。そして片付かない家も嫌でしょうがない。その千紗が、ある日考えを改め、自分の部屋の大掃除を始めた。そして、何かが大きく変わり始める！

『優等生サバイバル』 ファン・ヨンミ著 評論社 2023



都会の名門校に首席で合格したジュノ。つかのま親友ゴメと喜びを分かち合うも、すぐに1点を争う過酷な高校生活に突入。裕福な家の子は、高額な家庭教師や塾に通い、大学入試に備える。ジュノの父は医者だったが、退職して地方でガンに治療中でこれ以上教育費を捻出するのは難しい。この成績を維持できるか不安だらけの時に！

『ドイツの女性はヒールを履かない』 S・ヘフェリン著 自由国民社



ドイツ人の父と日本人の母を持つ著者は23歳までドイツで暮らし、その後日本に住んで、若干日本の方が長くなったそうですが、よく聞かれるのがドイツと日本の共通点や相違点。真面目で時間を守るのは両国に共通するらしいですが、違うのが特に日本女性の生き方。ドイツ人には信じられないようなところに気を配り、とにかく頑張りすぎなのではないかと著者は思っているのです。年相応とか、見た目とか気にしすぎなものも日本特有。なんだかドイツ人の生き方は肩の力が抜けていていい感じ！

『ユキエとくま』 アリーチェ・ケッセル文 はせがわまき絵 工学図書



知里幸恵とは、1903年に北海道登別にうまれたアイヌ女性です。19歳という若さで亡くなってしまいましたが、聡明な幸恵は、17歳の時に金田一京介という言語学者に出会い、文字を持たないアイヌの言葉を書き留めることを求められました。そこで幸恵は、音をそのままローマ字で表したのです。それが『アイヌ神謡集』です。心臓が弱かった幸恵は、短い生涯を終えました。幸恵の生涯に心をうごかされた一人のイタリア人が、この絵本をつくりました。

『奇跡のフォント』 高田裕美著 時事通信社 2023



知的には全く問題がないのに、文字を読むことに困難を抱えている人が、日本人なら5~8%、英語圏では、10~20%いると言われています。文字がどのように見えるのかは個人差があるのですが、UDフォントに変えることで、飛躍的に読めるようになる人がいます。(UDとはユニバーサルデザインの略) この本はUDデジタル教科書体の開発物語です。小学校低・中学年時に、「読む」ことに困難を抱えている子には、適切な支援の手が届けられることを願います。単なる急げ者と勘違いされ、本嫌いにならないためにも。

『読んで旅する日本と世界の色とりどりの教育』 武田緑著 教育開発研究所



図書委員会では、芸発が終わったら、月に1~2回、校長先生と「教育」をテーマに、図書館で気軽に話をする時間を持つ予定です。そこで教育に関する本を少し増やしたいなと思っています。学校での学び方、国によっても違うけれども、私立はその学校の教育理念によっても違います。著者は、特色ある学校にはこんな共通項を見出した。今ここと将来が幸せであること、自分が何を欲しているかを知るために、自分で選んだり決めたりする経験をたくさんすること、ホンモノに出会い、そこから学ぶこと。一人ひとりの違いが尊重されること、他者とのかわりあいのなかで学ぶこと、子ども自身が参画すること。皆さんの毎日はどうでしょうか？

9月にはいった本の一部です。リクエストは常時受け付けています。

登録番号	NDC	書名	著者名1	出版者	出版年
039318	002Q	勉強が楽しくなっちゃう本	QuizKnock	朝日新聞出版	2020/04
039316	002S	マンガでわかる!中学生からの最強の勉強法	坂本七郎	ナツメ社	2020/04
039237	304T	堤未果のショック・ドクトリン	堤未果	幻冬舎	2023/05
039263	327K	冤罪と人類	管賀江留郎	早川書房	2021/05
039300	361H	ドイツの女性はヒールを履かない	サンドラ・ヘフェリン	自由国民社	2023/07
039272	369R	支える、支えられる、支え合う	サヘル・ローズ 編	岩波書店	2021/11
039259	387T	呪物蒐集録	田中俊行	竹書房	2022/12
039271	440S	地球以外に生命を宿す天体はあるのだろうか?	佐々木貴教	岩波書店	2021/05
039322	457T	世界を変えた100の化石	ポール・D・テイラー,	イクスナレッジ	2022/12
039269	482M	恐竜がもっと好きになる化石の話	木村友莉	岩波書店	2022/10
039270	482M	はじめての動物地理学	増田隆一	岩波書店	2022/10
039273	483O	サンゴは語る	大久保奈弥	岩波書店	2021/05
039279	611H	食べものから学ぶ世界史	平賀緑	岩波書店	2021/07
039268	652N	木が泣いている	長濱和代	岩波書店	2023/06
039275	726A	原爆	ディディエ・アルカント,	平凡社	2023/07
039255	778S	心のおもらし	佐藤二郎	朝日新聞出版	2023/06
039319	780T	ドイツの学校にはなぜ「部活」がないのか	高松平藏	晃洋書房	2020/11
039214	816K	私立文章女学院	加藤道子 テキスト	遊泳舎	2022/11
039317	816Q	文章を読む、書くのが楽しくなっちゃう本	QuizKnock	朝日新聞出版	2020/10
039224	913A	岸辺露伴は倒れない	荒木飛呂彦 原作	集英社	2022/12
039248	913A	君たちは今が世界(すべて)	朝比奈あすか	KADOKAWA	2021/07
039315	913K	教室のゴルディオックスゾーン	こざわたまこ	小学館	2023/07
039222	913Ko	黒猫を飼い始めた	講談社 編	講談社	2023/02
039306	913Ma	夏のカルテット	眞島めいり	PHP 研究所	2021/06
039287	913Ma	保健室経由、かねやま本館。2~6	松素めぐり	講談社	2020/08
039294	913Nu	ラベンダーとソプラノ = lavender and soprano	額賀滯 作	岩崎書店	2022/09
039226	913Ta	クラスで2番目に可愛い女の子と友だちになった	たかた	KADOKAWA	2022/01
039292	913Tu	サクラサク、サクラチル	辻堂ゆめ	双葉社	2023/07
039293	913Tu	家族セッション	辻みゆき	講談社	2021/07
039225	913Yu	僕は花の色を知らないけれど、君の色は知っている	ユニモン	スターツ出版	2023/06
039236	933C	あなたの人生の物語	テッド・チャン	早川書房	2003/09
039218	933D	サラスの旅	シヴォーン・ダウド	ゴブリン書房	2012/07
039232	933D1	ロンドン・アイの謎	シヴォーン・ダウド	東京創元社	2022/07
039256	933G	アガサ・クリスティー失踪事件	ニーナ・デ・グラモン	早川書房	2023/04
039261	933L	アウトサイダー	H・P・ラヴクラフト	新潮社	2022/08
039250	933O	フランク・オコナー短篇集	フランク・オコナー	岩波書店	2008/09
039311	933S6	伝説の双子ソフィー&ジョシュ	マイケル・スコット	理論社	2013/11

附属国際中等教育学校と世中で、マンガ交換

1学期の終わりに、国際中等教育学校の司書さんが、世中に見えたのですが、たくさんのマンガを見て、「来学期、交換してみませんか?」と提案。そこで図書委員会同志で、交換してもいい漫画のリストをお互いに送り合い、そこから3タイトルのマンガを交換してみました。ぜひ、丁寧に扱いつつ、読んでみてください。

今読めるのは、『名探偵コナン』シリーズ、『聲の形』、『図書館の主』です。世中から貸し出したのは、『きのう何食べた?』『はじめアルゴリズム』『バナナフィッシュ』です。



75 回国語科 新書を読もう!



新書回転寿司...0 類から 9 類までの新書を 8 分ずつ 3~4 クールひたすら読みました。



新書精読...45 分間、自分が読みたい新書を選んで読書に浸りました。



新著つまみぐい...新書について阿部先生からの講義を聞いたあと、自分が好きなジャンルと、自分が苦手なジャンルから選んで、メモをとりながら 8 分読んで、隣に人に 2 分説明というのを 2 クール行いました。

75 回生 社会科

今月は教育実習生の先生が来ています。社会科の実習生の先生に、世中での図書館活用のお話をしたところ、授業で使ってみたいとリクエストが! CD 組は、「部落問題・ハンセン病・アイヌ民族・LGBTQ」に関する資料を手にしたかと思います。この日は、新書も読み、資料も読み...とかなり疲れたかしら?でも情報を読み取るのがさらに上手になったのでは?